

皮膚科

診療科の紹介

月曜から金曜までの週5日、午前8時30分から午前11時までが受付時間となります。今年度より二診体制とし、患者さんの待ち時間の短縮に努めています。

紹介患者さんにつきましては、月火金は鶴田、水は村尾(非常勤)、木は古河が担当いたします(木曜日は事前予約のみ鶴田指名での紹介も承ります)。紹介状をご持参いただければ予約なしでも診療いたします。Faxや電話で事前にご予約いただけた場合は、来院前に事務手続きや前治療の把握等を行ない、優先して診療を行なうようにしております。

取り扱う主な疾患

皮膚疾患全般を取り扱っています。水虫、イボ、ニキビをはじめ、重症の乾癬やアトピー性皮膚炎、蕁麻疹、化膿性汗腺炎に対する生物学的製剤治療、免疫抑制剤治療、皮膚腫瘍の診断・局所麻酔手術も行なっています。

当科の特徴

皮膚科で大切なのは、「視診(ししん：皮膚を観察し性状を把握する診察方法です。)」をしっかりと行なうことだと考えています。当科では、基本となる問診および視診を十分に行ない、必要に応じて皮膚生検(ひふせいけん：病変の一部を採取し病理検査を行なう)や血液検査、画像検査などの各種検査を提案し、なるべく正確な診断が得られるように努力しています。また必要に応じて他科の医師と緊密に連携し、質の高い医療を行なっていくことを心がけています。

当院は乾癬の生物学的製剤使用承認施設です。昨年も北九州市の内外から多くの乾癬患者さんに来院いただきました。乾癬には生物学的製剤を含めた様々な治療法があり、一人ひとりの乾癬の重症度、生活への影響を考慮して適切な治療法を提案するようにしています。生物学的製剤の中には自宅で注射出来る製剤があります。当科では在宅自己注射を積極的に導入し、看護師や医師による注射指導、門前薬局との連携を密に行ない、安心して治療が出来るようサポートしています。

昨年は最新型の限局型光線機器を導入し、乾癬や掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、白斑、円形脱毛症等で施行しています。小児の患者さんにも十分な説明同意の上で実施しています。

今年の新たな取り組みとして、SADBE(サドベ)による局所免疫治療を開始しました。難治性の円形脱毛症(慢性期)や尋常性疣贅に自費治療で行なっています。感作や処置は1回1,000円(税抜)で、円形脱毛症の評価時(月1回、ダーモスコピー等実施)は1回2,000円としています(広範囲の場合は金額変更あり)。難治の患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。

令和4年度 診療実績

局所麻酔手術件数(皮膚生検を含む)	221件
乾癬に対する生物学的製剤	37人
アトピー性皮膚炎に対する生物学的製剤	55人
光線治療	約30件/月

スタッフ紹介



皮膚科主任部長
鶴田 紀子
つるた のりこ



皮膚科副部長
古河 裕紀子
ふるかわ ゆきこ



皮膚科
村尾 玲
むらお れい